

【詩の部】 文芸賞

「ぼくの弟」

高田中学校 一年 菊地 正太郎

「しろう」とよぶと

「んにゃん」とへんじをしてよってくる

小学一年生の時に弟になった

夜はぼくの部屋でいっしょにねる

しろうは弟とはおもっていない感じ

まるで兄ちゃんだ。

かみがぬれているとなめてくれる

ケガしたときは、そばにいる

おこられていてもそばにいる

ありがとう。しろう

でもお兄ちゃんは、ぼくだよ

ぼくが小さいしろうを守るよ

もうすぐ6才。人間では30才ぐらいかな

大人になっておじいちゃんになっても

ぼくの弟



【短歌の部】

文芸賞

本郷小学校 五年 石川 心愛

庭の木に 実ったクルミ 十八個
母と拾った 私の記念樹



【俳句の部】

文芸賞

本郷中学校 三年 薄 翔太

農作業 冷たし祖母の 汚れた手

